

『今日東円寺では、子育て地藏尊大祭が行われるんじゃが、お地藏様のお話をしようと思っておるんじゃよ。』

『お地藏様といえば慈悲深い仏様で

まっすん。東円寺の子育て地藏尊大祭は、江戸時代には出店が出るほど賑やかなお祭りだったと聞いたでまっすん。』

『そうなんじゃよ。現代は、身分制度や人種差別などない

良い時代じゃが、そういう時代に、誰でも救済してくれるお地藏様は、人々の心の拠り所だったんじゃよ。以前、講左衛門通信で紹介したかもしれないが、幼い子どもが親より先にこの世を去ることは親を悲しませ、また、親孝行して功德を積んでいないということから、三途の川を渡ることができないんじゃ。子ども達は賽の河原で石の塔（塔婆）を作っているんじゃよ。

『お母さん、お父さんに会いたい・・・』と言いながら石を積むんじゃが、鬼が来てその石を壊されてしまう。お地藏様は、そのような子ども達を助けに行く仏様なんじゃ。そのようなことから「子供の守り神」として信じられているんじゃよ。』

『切ない話でまっすん。けれども、日本人にとってお地藏様は、たくさんいらっしゃる仏様の中で、誰よりも身近な存在だということだまっすん？』

『そういうことだと思っぞ。東円寺には、数多くのお地藏様が祀られているんじゃよ。機会があったら何体祀られているか、また、どのようなお地藏様がいらっしゃるか調べてほしいのう。』

『今年の大祭は、サプライズがあると聞いたでまっすん。とても気になるでまっすん。』

『ここ10年間は、毎年、オカリナ演奏をお願いしていたんじゃが、今年は、天台宗の女僧で落語家があるんじゃが、その方に来て頂こうと思っぞ連絡していたんじゃよ。しかし、予定があるということだったんじゃ。オカリナを楽しみに毎年お参りくださっている人もおるからのう。今年もオカリナの演奏者をお願いして来てくださることになっているんじゃよ。ところが、急遽「露の団姫」（天台宗女僧・落語家）が来られることになったんじゃ。今年は日曜日の開催じゃからのう、2部構成のスペシャルな地藏尊大祭なんじゃよ。』

『「露の団姫」と言えば、「ぶっちゃけ寺」に出演している方でまっすん。それは、盛りだくさんな地藏尊大祭でまっすん。講左衛門さん、落語を聞くには料金はかかるでまっすん？』

『無料じゃよ。午前9時から護摩の受付をしておるぞ。お地藏様におかけする前掛けをお願いする場合は、祈祷料が必要じゃがな。』

『多くの方にお参りに来てほしいでまっすん。』



ふじのだいごころざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは案内責任者)

午前9時～10時まで願意受付

午前9時30～御詠歌

午前10時～護摩祈祷

午前11時10分頃～オカリナ演奏

午後12時10分頃～昼食

午後1時30分～午後2時30分 落語